

平成23年2月26日（土） 三島市民文化会館において平成23年度予算総会が1066名（当日出席者35名 書面表決出席者1031名）の下に開催された。

- | | |
|-------|-------------|
| 第1号議案 | 平成23年度事業計画案 |
| 第2号議案 | 平成23年度予算案 |
| 第3号議案 | 次期総会開催地について |
- すべての議案が賛成多数で可決された。

平成23年度予算総会 会場出席者、書面表決による反対、意見および回答

1. 第1号議案について質問

渡辺 高文技師 <NTT東日本伊豆病院>

1：東部地区技師不足問題について、ホームページの求人欄でもわかるようにほとんどが東部地区によるものであり、東部地区では関東に近いため、神奈川や東京との競合になり就職者獲得にとっても苦慮している。そのような現状で「技師育成」という取り組みとは具体的にどのような取り組みなのか。また静岡県における毎年の検査技師国家試験合格者数と就職状況について具体的に教えていただきたい。また、ホームページや会報でも情報を掲載していただきたい。すでに資格をもった検査技師だけでなく、これから検査技師になろうとする中高生に対し、職業見学や説明会を行ったり、学生を対象に技師会主催の就職説明会を開催し、静岡県内の施設へ就職してもらうための活動を行ったらどうか。また技師会として県内の賃金格差の現状を把握し、時間単価の標準化をしてほしい。

【回答 横地会長】

まず東部地区の技師不足問題だが、東部地区に限らず県全体の傾向として、正規職員公募には多数の応募があるのに対し、有期職員やアルバイトの募集には応募が全くないという状況である。実際静岡県内に毎年何名の国家試験合格者がいて、何名就職しているのかは把握できていない。技師育成の活動とは若手・中堅・管理職にわけて研修会を開催し、意見交換の場を設けるなど、多くの問題点を把握して、技師会に意見をあげてもらおうことを考えている。

2：事務局事業計画案に各支部会の運営強化とありますが、具体的にどのような活動のことを示しているのか教えてほしい。

【回答 横地会長】

支部活動について、東部地区は地理的な理由で支部活動に支障をきたすとは基本的に考えていない。中部地区では支部を何ブロックかに分けてブロックごと静臨技役員が説明する場を設けている。23年度も支部会を充実させて多くの活動をしてもらうための費用を予算に計上している。

【回答 伊藤事務局長】

支部会の運営強化については、各支部に公開講演の開催や支部会を中心に技師長会の開催をお願いしている。また静臨技役員を各ブロックより均等に選出するようお願いしている。東部地区では例年、健康まつり等を支部会中心に活動している。

3：組織調査部事業計画案の事業で職業紹介業務の静岡県における支援とあるが、どのようなことを示しているのかわかりやすく説明してほしい。

【回答 横地会長】

技師会による就職の斡旋は組織としては禁止されているので、求人情報をホームページや会報に掲載し情報提供のみ行なっている。ご理解をお願いしたい。

【回答 伊藤事務局長】

求人情報はホームページに掲載しているが、あくまでも情報提供としての意味で斡旋はしていない。就職活動は情報を見て各自で交渉していただいている。

過去のホームページの求人情報掲載利用状況としては、2007年11月から東部7件・中部7件・西部4件、2008年4月から東部6件・中部14件・西部7件、2009年4月から東部5件・中部12件・西部17件、2010年4月から東部15件・中部15件・西部11件、利用合計東部33件・中部48件・西部39件となっている。

4：学術部事業計画案の研究班事業の中に研修会開催支援とあるが、どこまでどのように支援するのか、説明してほしい。また会報に掲載される勉強会とはどのような勉強会なのか、判断基準があれば、教えてほしい。昨年開催された研修会で参加費300円から7000円といろいろあったが、その中で正会員7000円（非会員10000円）の研修会が開催されたが、この金額は常識を外れていないか。金額の根拠はどこにあるのか、内訳の透明性はどうか説明してほしい。

また、総合研修会事業とあるが、具体的にどのような活動なのか。

【回答 上林学術部長】

研究班事業、研修会開催支援については、検査研究班運営規程・第15条および検査研究班運営規程施行細則・第4条および第5条に沿って適正に執行されている。具体的には、研修会の審査はまず班長から学術部長への報告・審査があり、つぎに会計部長への報告・審査があり技師会へ報告・承認を得てから開催される。すなわち、研修会に関する適正化についての検証がおこなわれています。お尋ねの参加費7000円が高額でないかということですが、朝から夕方まで盛り沢山の内容で全国レベルの講師を数名招いての研修会は、同規模の研修会事例と比較しても妥当なものとする。また会報やホームページに掲載される研修会は、研究班、精度管理委員会、標準化委員会による研修会、認定登録団体の勉強会や支部会の研修会などのことで、総合研修会事業は、医療安全管理など従来の研究班単位では対応が困難な研修会事業をいう。

5：渉外広報部事業計画案の静臨技会報の内容の中で、会員異動状況報告について自宅会員が中途退職によるものか、定年退職によるものかの区別ができるとよいと思う。

2. その他の意見

①：高木 義弘<静岡県立こども病院>

会長の示す「医療安全」～「技師育成」などの取り組みに対して、各部局の計画案が読み取れない。説明を求める。また、事務所返済積立金から購入積立金に変更になっているが、事務所を買い換えるのか。説明を求める。

【回答 上林学術部長】

ご指摘の件に関しては、さきほどの学術部の事業計画案で、お示ししたとおり、総合検査研修事業で対応していく予定である。今後、研修会を開催していくのでご協力をお願いしたい

【回答 豊田会計部長】

事務所購入の返済は、これまで定期返済に加え、この積立からも返済しているおかげで、あと残り僅かとなった。現在の積み立てを返済すると、来年度末時点での残額が 200 万円を下回ることになる。したがって、これ以上の積み立ては必要ないものとする。現在の事務所は、まだ何の問題もないが、永久に使える訳ではないので将来の事務所買い換え時の負担軽減を目的としての積み立てを計画した。なお、来年度の会計の状況によっては、必ずしも満額を積み立てる必要はないと考えている。

②：木野 徳子<市立島田市民病院>

慶弔規程を教えて欲しい。

【回答 伊藤事務局長】

この場で慶弔規定を全て細かく説明する時間がないので、各施設に配布されている定款・諸規定集を参考にしてもらいたい。また、静臨技ホームページにおいても閲覧が可能なのである。